

## 総合的な学習の時間 単元計画としての学習指導案

単元の計画を具体的に表現するには、例えば次のような項目を学習指導案に位置付けることが考えられる。  
(小学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編 P104～ 中学校は P99～)

令和〇年度 〇〇小(中)学校 総合的な学習の時間 第〇学年(〇年〇組) 学習指導案

## 1 単元名

総合的な学習の時間において、どのような学習が展開されるかを一言で端的に表現したものが単元名である。総合的な学習の時間の単元名については、例えば、

- ・児童(生徒)の学習の姿が具体的にイメージできる単元名にすること
- ・学習の高まりや目的が示唆できるようにすること

などに配慮することが大切である。

## 2 単元の目標

単元の目標は、どのような学習を通して、児童(生徒)にどのような資質・能力を育成することを旨とするかを明確に示したものである。各学校において定める目標や内容を視野に入れ、中核となる学習活動を基に構成する。

## 3 単元設定の理由

## (1) 児童(生徒)の実態

単元を構想し、構成する際には、児童(生徒)の実態を明確に把握する必要がある。特に、目標を実現するにふさわしい探究課題(これまでの学習経験)、探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力について、どのような実態であるかを把握しておくことが欠かせない。また、中核となる学習活動について、どのような経験をもっているのかも明らかにする必要がある。

なお、児童(生徒)の実態の背景や原因を教師の指導の立場から分析し、記述することが大切である。

## (2) 教材について

教材とは、児童(生徒)の学習を動機付け、方向付け、支える学習の素材のことである。単元計画の中に教材について記すに当たっては、教材の紹介にとどまらず、児童(生徒)がその教材に出会うことによって学ぶ学習事項について分析し、教材のどこに価値があるのかを具体的に記すことが大切である。

## (3) 指導について

探究の各プロセスにおいてどのような指導の工夫を行うのかを具体的に記述する。探究の各プロセスとは、①課題の設定②情報の収集③整理・分析④まとめ・表現のそれぞれのことである。また、児童(生徒)の主体性や協働的な学習を重視するとともに、各教科等との関連や、地域の教育資源の活用等、探究的な学習を具現するために必要な教師の指導について記述することが大切である。

#### 4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>「知識・技能」の観点は</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 概念的な知識の獲得</li> <li>② 自在に活用することが可能な技能の獲得</li> <li>③ 探究的な学習のよさの理解</li> </ol> <p>の3つに関する評価規準を作成する。</p>	<p>「思考・判断・表現」の観点は</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 課題の設定</li> <li>② 情報の収集</li> <li>③ 整理・分析</li> <li>④ まとめ・表現</li> </ol> <p>の過程で育成される資質・能力を児童（生徒）の姿として示して、評価規準を作成する。</p>	<p>「主体的に学習に取り組む態度」の観点については、「粘り強さ」や「学習の調整」を重視する。これらは、自他を尊重する①自己理解・他者理解、自ら取り組んだり力を合わせたりする②主体性・協働性、未来に向かって継続的に社会に関わろうとする③将来展望・社会参画などについて育成される資質・能力を児童の姿として示して、評価規準を作成する。</p>

国立教育政策研究所「指導と評価の一体化のための参考資料（令和2年3月）を参考に、評価規準を作成する。

#### 【単元の評価規準を作成する手順】

- ① 単元の目標を確認する。
- ② 単元の目標に示された資質・能力を踏まえ、目指すべき学習状況としての児童（生徒）の姿を想定し、単元の評価規準を作成する。

#### 5 指導と評価の計画（全○時間）

次（時間）	ねらい・学習活動	知	思	態	備考
<p>単元の展開では、目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力、児童（生徒）の興味・関心を基に中核となる学習活動を設定する。どのような資質・能力の伸長を期待しているのかを想定しながらの作業となる。</p> <p><b>【育成を目指す具体的な資質・能力と、具体的な学習活動を明らかにする必要がある】</b>            単元の学習を通して、どのような概念的な知識を児童（生徒）に獲得してほしいのか、どのような思考力、判断力、表現力等や学びに向かう力、人間性等の伸長を期待しているのか（<u>資質・能力</u>）を明確にし、児童（生徒）の興味・関心から始まる学習活動の連続が、探究的な学習活動となるよう単元を構想（<u>具体的な学習活動</u>）しなければならない。この段階では、具体的な時数や学習環境なども視野に入れ、単元の展開を具体化することが求められる。</p>					

【小学校学習指導要領解説 総合編 P. 104】【中学校学習指導要領 総合編 P. 99～】

（指導と評価の計画の枠組みは例示である。子どもの探究活動のまとまりが分かるように記述する。）

## 6 本時の展開

(1) 本時のねらい

(2) 展開 (○分)

学習活動 (○) 及び予想される子どもの反応 (・)	時間	○教師の支援 ◆評価規準及び評価方法
○具体的な学習活動を記入する。 ・予想される子どもの反応や思考の流れ等を記入する。		○主な学習活動に即した教師の指導や支援を記述する。 ◆評価規準と評価方法を記入する。

(本時の展開の枠組みは例示である。)



1 単元名 佐伯駅弁開発プロジェクト  
～「佐伯ならではの幸」でおもてなし～（全70時間）

## 2 単元の目標

人口減少や観光客の減少等の問題を抱える地域がもっと賑わうように、地域の特産品や活性化に取り組む人々について調べたり、地域の特産品を使った商品を開発して発信したりする活動を通して、地域の活性化に取り組む人々の思いや願いや自分たちにできることに気づき、持続可能な地域の在り方について考えるとともに、地域の一員として進んで行動しようとするようにする。

## 3 単元設定の理由

本単元は、探究課題「地域の特産品やその生産に携わる人々及び地域の活性化を目指す人々の思いや願いとそれを実現することの意義」に基づいて構想したものである。

### （1）児童の実態

子どもたちの総合的な学習の時間に対する意識は高い。本校は学級総合を基本としており、毎年調査しているアンケートでは、学級の全児童が総合的な学習の時間が「とても好き」「まあまあ好き」と答えており、毎時間楽しみにしている。好きな理由としては「いろいろな体験ができる」「自分たちの考えた方法で活動できる」「みんなと協力して学習できる」「やり遂げたいうれしさや楽しさを感じることができる」が挙げられている。そして、総合的な学習の時間で学んだことや経験したことが他教科や日頃の生活に役立っていると考える子どもの割合は71.4%と多い。

昨年までの学習の中で、思考ツールを使って整理し、課題についての話し合いを繰り返し、活発な意見交換ができるようになってきている。しかし、目的や意図に応じた思考ツールを自ら選択して活用するまでには至っていない。これは、教師から提示された思考ツールを使って話し合う場面が多く、課題の解決に向けて話し合う目的や意図、ゴールイメージを明確にもたせることができていなかったからであると考えている。

また、昨年度の総合的な学習の時間において、クラス全員で音を奏でる「ボディーパーカッション」や自分たちでペットボトルロケットを作成しての「ミニミニ宇宙開発」など、各学級の取組の中で、多様な体験活動を行い、新しいもの（こと）を自分たちで創り上げることの楽しさや難しさを実感している。

### （2）教材について

これまでにない「佐伯駅弁を開発する」ことに強く関心をもつことが

### 【単元の目標の構成】

学習内容  
学習活動  
資質・能力

これまでの総合的な学習の時間の経験を踏まえる。

どのような内容を学び、どのような資質・能力を身に付けているのか等、児童（生徒）の実態を把握するとともに、教師の指導の立場から分析する。

期待できる。また、商品化という中核となる活動を仕組むことで、子どもたちが相手（消費者）を意識しながら、主体的に学習活動を進めていくことが期待できる。

また、駅弁の材料となる「どのような特産品があるのか」「地域ならではのこだわり」などについての情報を収集する中で改めて佐伯のよさを見つめ直すこともできる。さらに、「自分たちだけで駅弁を作れるのか」「駅長さんの思いを実行することにつながっているのか」という目的に応じた整理・分析をしたり、活動の様子をまとめて紹介したりする表現活動など、探究的な学習のプロセスを繰り返すことができる教材である。

活動していく中では、子どもたちが乗り越えていくべき問題も生じるであろう。その壁を乗り越える場を主体的、協働的な学習の機会として生かすことができる。また、課題解決のためには地域の方の力を活用することの重要性を学ぶ機会も設定できる。

このような主体的な活動の中では、KJ法・座標軸・ピラミッドチャート・くま手チャート・ボックスチャート等の思考ツールの活用を助け、子どもたちが課題を解決しようとする場面で比較する力や関連付ける力を中心に思考力を身に付け、願いを実現しようとする態度を育てることができると考えている。

### (3) 指導について

#### ①活動全体を見通した留意点

- 失敗や躓きを予想して、「学び」の場面として生かす。
- 思考ツールを積極的に活用し、目的に応じて選択できるようにする。
- 仲間や地域の方々、専門家等との協働的な学習の機会を増やし、共に学ぶことの楽しさを実感できるようにする。
- 国語科・家庭科を中心として、各教科等との関連を図る。

#### ②探究的な学習プロセスの構成

##### ア 課題設定の工夫

まず、佐伯駅を見学し、駅（市）の現状や駅長さんの熱い思いを聞くことで、観光客を増やすために自分たちも協力したいという気持ちをもたせ、「駅弁開発」を課題に設定する。佐伯駅ならではの「めだま」を作ることを仕掛け、より積極的に取り組めるようにする。ステップ2では、まず、自分たちが食べたい駅弁をイメージする。その後、自分たちの好みだけで良いのかどうかを考え、買い手の立場になって駅弁を考えていく。ステップ3では、自分たちの力だけでは「駅弁」を作ったり売ったりすることは難しいという困りから、地域の方々と協働したいという思いをもたせ積極的にPRできる場を設定する。躓きが生じた時には、一度の失敗で諦めて終わりにならないように、地域の方や家族に協力

この単元で児童（生徒）が学ぶ学習事項について分析する。単元の独自性や重点が分かるようにする。

探究の各プロセスにおいてどのような指導の工夫を行うのかを具体的に記述する。

【課題設定】児童（生徒）の課題意識が連続発展するような教師の手立てが大切である。

- ・意図的な働きかけ
- ・学習対象との関わり方や出合わせ方を工夫
- ・対象に直接触れる体験活動など

してもらい、活動の方向性を自分たちで考えさせたい。

## イ 情報収集の工夫

情報を収集するにあたっては、活動の目的を意識させることで、「だれが」「だれに」「何を」「どのようにして」などの観点を踏まえるようにする。目的に応じて手段を選択し、課題解決のために必要な情報を集めることができるようにしたい。さらに、収集した情報は適切な方法で蓄積するようにする。

**【情報収集】**目的に応じた多様な方法で必要な情報を取り出したり収集したりする。

- ・情報は多様であり、収集する方法によって異なる。
- ・体験を通じた感覚的な情報収集を大切にする。
- ・自覚的に行う。
- ・収集した情報は蓄積する。

## ウ 整理・分析の工夫

体験したことや情報を整理・分析する段階では、多様な思考ツールに触れさせていきたい。集めた情報を整理するために、マトリックス表やグラフを用いる。最終的には、自分たちで情報を整理・分析する手段として、いろいろな思考ツールを自分たちで選択し活用できるようにさせたい。それを繰り返す中で、子どもにとって考え方の方向性が見える適切なツールを自分たちで選び、活用する力を付けさせたい。また、効果的な板書や発問、話し合いの論点を明確にする等の工夫で、子どもたちが根拠をもとに自分の考えを表現したり思考を深めたりできるようにしたい。

**【整理分析】**収集した情報を整理したり分析したりして思考する場面を位置付ける。

- ・「考えるための技法」の活用を意識する。
- ・考えを操作化、可視化する思考ツールの活用を検討する。
- ・子ども自身が情報を吟味する。
- ・どのような情報がどの程度収集されているか把握する。
- ・どのような方法で情報の整理分析を行うのか決定する。

本単元で活用されることが予想される思考ツールは、座標軸、ピラミッドチャート、メリット・デメリット、ボックスチャートなどである。これらを、目的や必要に応じて選択したり組み合わせたりしながら活用する力を付けるとともに、自分たちの考えを生かした学習活動が展開されるよう支援していきたい。

## エ まとめ・表現の工夫

駅弁ができたなら、それを「めだま」に観光客を呼び込みたいこと等について、佐伯駅、観光協会、まち作り団体、お店に対する様々なプレゼンテーションの仕方を考え、相手や目的、自分たちの意図を明確にする。その際、友達と話し合ったり協力し合ったりして準備をしていくことを大切にする。活動の最終場面では、自分たちが開発した駅弁をたくさんの人たちに味わってもらう場を位置付ける。そのことにより、自分たちの力でできたという達成感や、地域のために開発できたという成就感を味わわせたい。さらに、1年間の活動を振り返りや駅弁にこめた思いなどをプレゼンにし、地域に出かけて表現する活動を行う。最終的には、自分たちが考えた駅弁で佐伯を訪れている人たちをおもてなしし、感謝の気持ちを伝え、このプロジェクトの終わりにしたいと考えている。

**【まとめ・表現】**気づきや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現する。

- ・相手意識や目的意識を明確にしてまとめたり、表現したりする。
- ・まとめ表現が、情報を再構成し、自分自身の考えや新たな課題を自覚することにつながる。
- ・伝えるための具体的な方法を身に付ける。(各教科等の表現方法の活用など)
- ・外部への発信と評価により、子どもたちに達成感を味わわせる。

## オ 自己のよさや学びのよさに気付かせるための工夫

活動途中や活動後に、子どもたちが学んだことを生かしている姿を教師自身が見付け、すぐにフィードバックする「その都度評価」を行うことで、学びのよさを実感できるようにしていきたい。なお、「その都度評価」を行う際には、「付けたい力」だけにとらわれるのではなく、一人ひとりの個人内評価を重視していきたい。また、地域の方々からの評価等もいただきながら、子どもたちが主体的に活動できるようにしたい。1時間ごとの振り返りの中で、友だちの良さががんばりを紹介するとともに、自己の成長に気付かせる。子どもたちの振り返りを次時の導入に活用するなどして、子どもたちの活動と思考を連続させていきたい。

**【評価と振り返り】** 資質・能力を育成することができているかどうかを見取る。

- 個人内評価を大切にする
- 多様な評価方法や評価者による評価を適切に組み合わせる
- 学習内容を確認する振り返り
- 学びの価値を実感する振り返り
- 学びの手ごたえを実感する振り返り など

## 4 単元の評価規準（例）

A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
<p>① 地域には海・山・川の自然を生かして生産される特産品が存在し、それらを生かしたまちづくりが進められていることと、自分たちの生活が関わっていることを理解している。</p> <p>② 活動を通して調べたり考えたりしたことについて、相手意識や目的意識を明確にしながらかつてまとめる方法が分かっている。</p> <p>③ まちづくりと自分たちの生活に関連があることの理解は、特産品とまちづくりの関係を探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。</p>	<p>① 特産品を生かした地域の活性化について、現状や理想との隔たりから課題をつくり、解決に向けて自分にできることを考えている。</p> <p>② 特産品を生かした地域の活性化に向けて必要な情報を、手段を選択して収集している。</p> <p>③ 地域の活性化に向けて収集した情報を取捨選択したり、複数の情報や考えを比較したり、関連付けたり、焦点化したりしながら、解決に向けて考えている。</p> <p>④ 伝える相手や目的に応じて自分の考えをまとめ、適切な方法で表現している。</p>	<p>① 活動を通して、自分と地域や地域の活性化に取り組む人々とのかかわりを見直そうとしている。</p> <p>② 地域の活性化に向けた取組を考えたり実行したりする中で得た知識や友達への考え、地域の方々の考えを生かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。</p> <p>③ 課題解決に向けた自分の取組や状況を振り返り、地域の活性化に向けて粘り強く取り組もうとしている。</p>

5 指導と評価の計画（全70時間）※例

次（時間）	ねらい・学習活動	知	思	態	備考
地域の現状を調査し、地域の活性化に向けた取組を考えよう （20時間）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の玄関口である駅に出かけ、駅長の話の聞いたり、駅周辺の様子を見学したりする。</li> <li>○地域の商店街の様子を調べたり、過去と現在の様子について調べたり、地域の方々から話を聞いたりする。</li> <li>○地域がもつ特徴やよさ等を調べる。</li> <li>○調べて分かったことを整理して、地域の現状を明らかにする。</li> <li>○地域の活性化に向けて、自分たちにできることを考える。</li> </ul>	①	①		<p>知：振り返りシート</p> <p>思：発言分析 振り返りシート</p>
地域の食材を使った「オリジナル駅弁」をつくろう （30時間）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域が進めている活性化の在り方を調べたり、関係機関から話を聞いたりする。</li> <li>○全国の駅弁等について調べ、特徴を整理する。</li> <li>○どんな駅弁を作りたいか視点を決めて考え、駅弁イメージ図をつくる。</li> <li>○駅弁を作るために知りたいことを出し合い、インタビュー等で情報を収集する。</li> <li>○栄養教諭や観光課の方々、地域に訪れている観光客等に自分たちの駅弁の意見をもらい、活動の方向性を見いだすために整理分析する。</li> <li>○試作・改善を繰り返す。</li> <li>○駅弁についての意見を踏まえ、完成した駅弁のPR内容や方法を考える。</li> </ul>	②	② ③ ① ④	② ③	<p>知：振り返りシート</p> <p>思：発言分析 態：行動観察 振り返りシート</p> <p>思：発言分析 振り返りシート</p> <p>思：発言分析 振り返りシート</p>
自分たちの取組を振り返り、地域の活性化と自分たちの関わりについて考えよう （20時間）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分たちの活動を振り返るとともに、地域の特産品や活性化の取組と自分たちの関わりについて考える。</li> <li>○他地域の活性化の様子等を調べ、自分たちの地域にも生かせそうな取組を調べたりまとめたりす</li> </ul>	③	②	②	<p>知：振り返りシート 態：行動観察 振り返りシート</p> <p>思：振り返りシート</p>



	<p>る。</p> <p>○関係機関と協働しながら、持続可能な活性化に向けたアイデアをまとめ、「地域 MIRAI ノート」にまとめる。</p>	④			知：MIRAI ノート
--	---	---	--	--	-------------

**【留意点】**

児童（生徒）が自ら探究活動を進めるイメージをもって、学習活動のまとまりを示す。  
 探究的な学習の過程が充実するよう、探究プロセスを複数回繰り返すようにする。

## 6 本時の展開（38／70）

### （1）本時のねらい

オリジナル駅弁の食材について、「佐伯ならでは」「時間がたってもおいしい」という視点に沿って、根拠や理由を明確にして話し合ったり、それぞれの食材のよさ等について比較したり多面的に検討したりすることを通して、佐伯の「めだま」となる駅弁にふさわしい食材を決定することができるようにする。

### （2）展開（45分）

学習活動及び予想される子どもの反応	時間	○教師の支援 ◆評価規準及び評価の方法															
1 前時を振り返りながら、本時の課題を確認する。 ・くま手チャートで考えた食材の振り返りをする。 ・前時の振り返りシートを数人分紹介する。	5	○前時の振り返りシートの中から、本時の課題につながる内容のものを紹介する。															
<b>（めあて）佐伯の「めだま」にふさわしい駅弁になるような食材を決めよう</b>																	
・自分たちの駅弁に欠かせない要素（視点）を確認し、それに沿って話し合うことを押さえる。 「佐伯ならでは」「時間がたってもおいしい」  2 個人が選んだ食材を出し合い、班で検討し、1～2個に絞り込む。 ・マトリックスを用いて多面的に話し合う。 ・個人のくま手チャートに記された根拠や理由を出し合う。	15	○話し合いの視点を板書に位置付け、意識させる。  ◆B-③（発言分析） <具体的な児童の姿> ・それぞれの食材の特徴を踏まえ、自分なりの理由や根拠をもって視点に基づき検討している。															
<table border="1" data-bbox="113 1167 916 1417"> <thead> <tr> <th>食材／視点</th> <th>佐伯ならでは</th> <th>時間がたってもおいしい</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ぶり</td> <td>△</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>ひじき</td> <td>△</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>塩トマト</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>マリンレモン</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	食材／視点	佐伯ならでは	時間がたってもおいしい	ぶり	△	○	ひじき	△	○	塩トマト	○	○	マリンレモン	○	○	20	○食材名のみが発言が続く際には、「どうしてそうなったか」問いかけ、根拠を明確にするようにする。 ○全体での話し合いによって食材が決定されるよう、「みんなはどう思うか」等問いかけていく。
食材／視点	佐伯ならでは	時間がたってもおいしい															
ぶり	△	○															
ひじき	△	○															
塩トマト	○	○															
マリンレモン	○	○															
3 班で絞り込んだ食材について、全体で検討する。 ・ボックスチャートを黒板に位置付け、班で出された意見を全体で検討しながら、食材を決めていく。 <div data-bbox="113 1570 916 1939" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> </div>	5	○本時の話し合いについての自分の思いや次時のめあてを書くよう助言する。															
4 本時の振り返りをする。 ・本時の話し合いを振り返り、次時のめあてについて考える。																	